

地区ガバナー運営基本方針

1. 会員拡大 〈Mission 1.5、新クラブ・クラブ支部・キャンパスクラブ結成〉

「Mission 1.5」が2023年7月1日に発出され、今期がその目標達成に向けた重要な年となります。

入会者よりも退会者が上回る状態が続き、会員減少が進んでいる問題には、いまだ歯止めをかけることができていません。しかし、ご承知の通り、会員減少を止めなければ奉仕活動は縮小し、ライオンズクラブが地域に存続していくことができなくなります。

世界に、また地域にライオンズクラブの奉仕活動を必要とする人が居る以上、この問題と果敢に挑んでいかななくてはなりません。各クラブの皆様とキャビネットが一丸となり、叡智と情熱をもって取り組んでまいります。

2. LCIF 〈Lions Clubs International Foundation〉

世界にライオンズクラブの奉仕活動を必要とする人がいる限り、取り組んでいくものであります。「LCIFは何に使われているのか分からない・関係ない」と思う方もいると思いますが、国際協会の目的に賛同し、国際協会（LCI）のチャーターを受けて誕生したのがクラブであり、私たちが定期的に納める国際協会費で世界200か国・4万8千クラブ・会員数140万人で運営されています。

そして国際財団（LCIF）への寄付によって、世界各地で奉仕が行われています。したがって、私たち一人でも多くの方が寄付をすることによって、より広い範囲に行き届くわけであります。

各種団体が多数ございますが、どこの団体も運営費が必要となるため、寄付の一部は経費に消えていく訳ですが、LCIFは100%、世界各地での活動、また子供達を救うことに使われます。

これが世界の奉仕団体であり、ライオンズクラブであります。クラブ内の事業に参加できない時もあるかと思いますが、会費を払いLCIFに寄付することで、国際協会を支え、世界各地の奉仕活動を行っていることに変わりありません。

また、2018年西日本豪雨災害では1億2000万円の交付金を拠出し支援を行

い、能登半島地震直後にも緊急支援金が拠出されました。そして LCIF は寄付するだけではなく、地区シェアリング・クラブシェアリングとして支援を受けることもできるため、大いに活用していただきたいと思います。どうか地域活動を行うとともに、LCIF に対しましてご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

3. 指導力育成 〈地区内人材の強化〉

年度の計画を立て、その計画通りに 1 年を運営していくことは重要なことですが、ライオンズクラブは単年度の連続であるため変化が難しく、クラブ内の新鮮さに欠け、一年を過ごすだけで終わってしまう環境ではいけません。全てのメンバーがリーダーシップを発揮できる環境を整えることで、個々の成長を促進し、全体の団結力を高めます。

そして、新メンバーと既存メンバーの双方を対象に、リーダーシップに関連する未来ビジョン委員会を設置し、短期・中期・長期で考えていき、地区内のリーダーシップの質を向上させていきます。

4. 社会奉仕 〈インパクトの強化〉

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体であり、多大な影響を与えている事と存じます。しかし、まだまだライオンズクラブを知らない方たちが沢山いらっしゃいます。社会からライオンズクラブを見た時、「ライオンズに入ってみよう」「メンバーとして活動したい」と思われる影響力のあるライオンズづくりが必要と考えます。

クラブ内は楽しいか？ 年会費はどうか？ 奉仕事業は地域に感動を与えるものであるか？ これらは退会理由にもなっている事でもあります。今期は新会員がやりがいの持てる、地域のニーズに合った奉仕活動も検討してみてください。ニーズを調査するために、各地域の行政と相談して必要とされる奉仕活動をご検討し、活動してください。伝統として続けている奉仕活動を継承しながらも、改善できるものは積極的に取り組んでください。

地域への PR が重要であります。ホームページへ最新の ACT（奉仕活動）を投稿、SNS の活用による PR を積極的にご利用いただきたいと思います。

5. 新時代のライオンズへ 〈変化対応力の強化〉

日本でライオンズクラブが誕生して 75 年、各地域の社長の集まりで敷居の高い団体と言われていた時代とは大きく変化してきています。近年の会員減少により、毎年のように会員拡大・退会防止を国際協会に掲げてきました。この課題を解決するため、2023 年 7 月 1 日から 2027 年 7 月 1 日までに世界で 150 万人の会員数にすることを目標とした「Mission 1.5」が発動されました。

そこには、次々に起こる自然災害・未だ終わらない紛争等により被害に遭われている人達や困っている人達が居る現状の中、奉仕団体として活動していく為には会員の拡大が最重要であるとの思いが込められています。

We Serve の精神のもと、入会は招請であることが基本であり、社長や代表者でなくては入会できないものではなく、会社員・主婦をはじめとし、シニアチームや趣味の会等の入会もされるようになってきました。支部や SCP（スペシャルティクラブプログラム）の活用により、高くない年会費の設定や、厳格な例会ではなくカジュアルに趣を置き、奉仕活動資金は収益事業や企業寄付等で運営しているクラブも増えてきています。

例会や奉仕活動に参加すれば多くの仲間と繋がることができます。そのためにもまずは参加することが大切です。参加すれば、自身が他の会員の楽しさを創出していると思えるような事もあると思います。

会員数の割合に対して事業が多すぎ、負担となっていないか？ また、他人に任せきりになっていないか？ 今一度、会員同士でも見直すことをお勧めします。前期はあまり事業に参加できていなかったから今期は積極的に参加しよう、仕事が忙しく日中の参加は難しいため休日のアクティビティ・夜の懇親会に参加する等、自由なペースでみんなが集まり、楽しんでいけたらと思います。